

## (仮称)佐倉西部自然公園第8回合同会議 会議概要

1. 名 称 (仮称)佐倉西部自然公園 第8回合同会議
2. 日 時・場所 平成24年6月24日 10:00～12:00 佐倉市役所6階中会議室
3. 参 加 者 下志津ふるさと会 7名、畔田里山会 5名  
仮称佐倉西部自然公園支援し隊 4名  
東邦大学医療センター佐倉病院 2名、千葉県立佐倉西高等学校 1名  
公園緑地課 4名、環境保全課 2名 計25名(傍聴10名)

### 4. 内 容 1) 参加者の紹介・前回会議(第7回合同会議)の報告

公園： (\*前回会議の詳細は、第7回合同会議 会議概要をご参照ください。)

### 2) B・Dゾーンのイメージ図について説明

公園： 整備基本計画では、公園予定区域をA B C D 4つのゾーンに分けています。下志津側のAゾーンはふるさと会、畔田側のCゾーンは里山会を中心に個別詳細計画としてイメージ図を作成し、前回会議でご説明いたしました。整備基本計画のB・Dゾーンの位置付けは、  
**Bゾーン**：里山・谷津景観を再生し、斜面を含めた一体として谷津を保全することにより、サンバ等猛禽類を頂点とする里山・谷津環境の多様な生き物を育むエリア  
**Dゾーン**：昔からの山林形態を色濃く残し、猛禽類を筆頭に貴重な生物が身を潜める場所と考えられるため、人の出入りを抑制し、最小限の管理をしていくエリアとなっています。Bゾーンでは、佐倉市谷津環境保全指針に基づき、畔田谷津ワークショップを立ち上げ、市民と環境保全課と協働で谷津環境を保全、再生するための活動を行っています。また、Dゾーンも、整備基本計画において生物を最大限配慮する位置付けとなっています。そのため、B・Dゾーンの個別詳細計画は、支援隊を含めて環境保全課に作成を依頼しております。今回、その案について環境保全課からご説明いたします。

環境： 配布した資料は、支援隊の皆さんと環境保全課が、公園緑地課立会のもと、協議をした結果を記載したものです。資料は傍聴の方にお渡ししておりません。大変申し訳ありませんが、次回以降、お配りする予定とさせていただきます。

(**Bゾーンの案**) AゾーンとCゾーンに挟まれた畔田沢下流域については、既に生き物田んぼや観察路、研究路などを整備しています。今後、立入規制期間等を設け、自然や動植物等を多くしていきたいと考えております。また、畔田谷津ワークショップの方々を中心に整備しており、現状をこれからも維持していくこととします。

(**Dゾーンの案**) Bゾーンの上流域にあたる区域です。猛禽類の生活圏であると考えられていますので、環境等に配慮すべき区域と思われます。また、貴重な湿性植物などもあり、あまり手を入れない自然保護エリアとして考えています。整備については、赤道など、昔からの公衆用道路として利用されていた道がありますので、それらを管理用道路・観察路として整備していきたいと思っております。図面のうち、**赤色ライン**—観察路①は、利用者が日常的に往来できる観察路、**青色ライン**—管理作業路は、山裾を中心とした部分ですが、足場等が悪く、立入困難な部分です。この部分は、貴重な動植物を考慮して、通行を制限すべきではないかと思われる部分です。Dゾーンの中に入っている**茶色ライン**—観察路②は、貴重な動植物の保護を考慮し、動植物が活動する期間は立入禁止などの制限をすることで、保全を図りたいと考えています。Dゾーン南側**灰色の色塗り部分**は、車5台分の作業場という位置付けで、管理用車両を停めることも可能なスペースとしますが、奥の道路への一般車両の通行は出来ないように整備します。また、生物保護に関する説明板などを設置し、利用者の方に呼びかける形をとりたいと思っております。なお、トイレ設置は近接Cゾーンに計画がありますので、設置については考えておりません。

公園： B Dゾーンイメージ図の説明について、支援隊で付け加える事項はありますか？

支援： 特にありません。

病院： トイレは公園内各ゾーンに少なくとも1つは必要かと思われませんが、いかがでしょうか。

公園： 整備基本計画の検討会でかなり議論された部分です。主に自然環境を守る立場の方々からの提言により、不要としたものです。変更の余地もありますが、環境保全課と支援隊、地元を含め、今後どのようにするか、話し合いにより決めていくことになるかと思っております。

	(ちば環境再生基金について)
環境 :	平成 18 年度から千葉県の、ちば環境再生基金の助成を受けまして、整備を進めているところです。来年度ー平成 25 年度の事業に対する助成金は未定となっておりますが、今後につきましては、畔田谷津の事業として、ワークショップの方々をはじめ、皆さまにご協力をいただきながら継続すべきと考えています。
里山 :	緊急雇用も平成 25 年度からはなくなるとすると、今後、市の予算の方はどのようになるのでしょうか。ちば環境再生基金の昨年の助成実績など、伺いたいと思います。
環境 :	ちば環境再生基金は、一般財団法人千葉県環境財団が里山風景など失われつつある自然環境の保全や再生する事業を実施する市町村などに対し、事業費を助成するものです。助成枠は一事業 1,000 万円で、平成 18 年度より既に 700 万円近く助成を受けています。今年度も助成を利用して事業を実施する予定です。B・Dゾーンにかかる事業費は 199 万円、うち助成金は 99 万 5 千円です。

### 3) 今後の緊急雇用創出事業ー維持管理・ボランティアなどについて

	(緊急雇用創出事業)
公園 :	緊急雇用創出事業は平成 21 年度から 3 ヶ年ー昨年度で終了の予定でしたが、先般の震災を受け、新たに国が震災等に基づく失業者対策を重点分野として位置付けを行いました。平成 24 年度は震災の影響等で失業された方を優先して雇用するという条件は付きますが、引き続き、昨年度同様に里山形態の復元を目指し、補助を活用しての事業実施が可能となりました。佐倉市が委託した業者がハローワークを通じて失業者を雇用して作業します。発注は早期に行いますが、実際の作業を夏の暑い時期に行いますと、新しく雇われた方が慣れない作業でバテてしまうことが多かったため、作業着手は秋以降になるかと思います。里山会の皆さんからは、平成 25 年度以降はどうなるのか、せっかくお金を使ってきれいにしたのに元の黙阿弥になるというご意見もいただいています。公園区域は未開設で、公園整備としての補助金も難しい部分がありますが、緊急雇用事業などの通常の補助金と異なるものにも積極的に手をあげるなど、今後も進め方を充分検討してまいります。
	(管理のボランティアについてー現在の状況)
公園 :	【Aゾーン】○下志津ふるさと会：仮設グラウンドゴルフ場・百合が丘の整備・草刈り、高齢者クラブの方々が竹林のたけのこ刈り・ゴミ拾いなど ○喜楽な会：病院・西高下の白井作谷津から台地にかけてのゴミ拾い、草刈り等 【Bゾーン】○環境保全課、畔田谷津ワークショップ：下流域で畔田谷津保全事業 ○支援隊：ビオトープなどの整備、自然観察会など 【Cゾーン】○畔田里山会：野球場周辺のゴミ拾い、仮設トイレ管理、道路沿い草刈り等 ○畔田竹刈り隊：薬師堂手前の竹林整備ー支援隊の 1 メンバーと東京情報大学生を中心に その他ー上手繰川沿い土手からAゾーンにかけてごみ拾いをしてくださる方や、Cゾーン野球場関係者にも、ご協力いただいています。
公園 :	平成 25 年度以降は緊急雇用がないものと想定しますと、何とか管理保全を図る方策を検討しなければなりません。時期になりますと、かなり草が伸びますので管理は欠かせません。今後ともボランティアの方々のご協力をいただき、連絡を密にするなど連携を図り、維持管理を継続したいと考えております。

### 4) 散策マップ (案) について

公園 :	今までの会議でPR不足とのお話を頂戴しています。また、里山会さんからは駐車場など人を呼ぶための基本的な施設が無いなか、どのようにPRしていくか等の話もあります。お配りした散策マップは(案)としてホームページで公開していますが、緊急雇用で切り開いた部分が散策できるようになり、公園緑地課にもお問い合わせが増えています。現在の公園予定区域の良さを市民の皆さまに知ってもらうため、散策する際に最低限必要なアイコンを地図に表し、A 3 版位の大きさで掲示する予定です。場所の共通理解を図ることで、管理上のメリットもあります。なお、人が集まることは嬉しいのですが、影の部分も。そこで注意書きーごく当たり前の事項や、植物の盗掘などに対して「動植物を持ち帰らない」と入れました。しかし、水辺で遊ぶ子どもの青蛙とりまでを禁止するのかと疑問に思う方もおられるでしょう。悩むところです。様々な方のご意見により修正していきます。
------	---

支援：	「植物を持ち込まない」ことも必要かと思われます。できれば、別に作っていただいた方が埋もれなくて良いかと。非常にきれいになって貴重な野草も出てくるようになりました。 (野草について) *会議概要はホームページで公開しますので、野草の名前は伏せています。
ふる：	ふるさと会高齢者クラブで竹林の整備をさせてもらっています。竹林の清掃・伐採の際に貴重な野草類がちらほら生えているのを見つけました。支援隊からのお話もあり、放っておくと刈ってしまうので目印をつけてしまったのですが・・・目印はもしかしたら善し悪しではないかと。皆で話をしましたが、別の手で下草刈りした際に貴重な野草を刈ってしまうかも知れませし、そのうち会長にお諮りして決めようか。との話になりました。
公園：	公園緑地課にも貴重な野草が生えていたのに、ソックリ無くなっていたという話は来ています。柵を設け、「地権者より」という看板を設置して保護している部分もあります。
支援：	人が集まることの光と影の部分ー盗掘をこれからどうするか。また、CDゾーン付近にサシバやキビタキなど貴重な鳥がいます。カメラマンが長時間居座るなどして、サシバが嫌がって巣を放棄する懸念もあります。環境保全課で見回りや看板などの措置を下さっていますが、貴重な動植物への阻害をどう対処していくか、大きな課題と思います。
病院：	動植物の保護に関して、人が見えないような観察場所などの予定はあるのでしょうか。
公園：	整備基本計画検討会で観察場所も必要というご意見もありましたが、BDゾーンの施設整備は、自然を守ることを考慮したうえ、次の段階で施設の詳細を詰める方針としています。

## 5) 今後の進め方について・各ゾーンの状況について報告

	(今後の進め方について)
公園：	合同会議において、多くの皆さんのご意見をいただきながら、進めたいと考えています。整備予算も、まずは個別計画をまとめることが必要となります。個別「計画」としても、先々まで詳細にまとめてしまいますと、後々の縛りが生じます。整備基本計画がきちんと存在しますので、計画に沿ったイメージ図を元に、皆さんのお話し合いの中で決めて参りたいと考えております。本日B・Dゾーンのイメージ図の説明を受け、各ゾーンのイメージ図が出揃いました。次回会議では、優先順位や施設の規模、どのような工事が必要となるか、工事の金額や時期などを話し合っ決めてたいと。なお、維持管理についても、緊急雇用のみに頼ってはいは良くないとのご指摘もあるため、今後ますます進め方が重要になってくると認識しています。また、里山会さんからお話いただいている地権者説明会ですが、1回しか行っていませんので、地元のご意見を伺いながら、2回目の開催を検討します。 (Aゾーンの状況について報告・ふるさと会の整備方針)
ふる：	下志津ふるさと会では、グラウンドゴルフ場を整備しています。雨上がり後の利用に困ってましたので、芝の種をまくことにしました。へりが降下する際にも埃の心配はなくなります。芝の種は小さく、少しの雨でも流れるため、事前の整地が大切です。雑草刈りからトラクター整地・ローラーがけなど、自分たちの手で行い、種をまきました。芽が出た後の芝生はこまめな刈り取りが一番ですので、先ほど、芝刈り機を公園緑地課から借りられないか確認したところです。また、高齢者クラブには4月から6月まで竹林整備を行っていただいています。竹林のゴミ拾いや枝払い、竹の子を生やしたままですと元に戻ってしまうため、簡単に鎌で刈れる時期に竹の子刈りなど。大変感謝しています。また、Aゾーンにチップがかなり入っていますが、このチップが放射能に汚染されているのではないかと懸念がありましたが、測定の結果大したことはない。そこで、チップを利用し、多少整備して駐車場にさせていただきたいと思ひます。
公園：	今あるチップを敷均し、晴れた日に仮設駐車場として利用できるのは良いですね。チップについて自然環境に興味を持つ方々よりご意見を頂戴しています。公園の刈草にはアイスの棒など細かいゴミが目立ちますので、今後は枝葉チップを入れるなど、配慮します。また、以前に入れたチップの放射線数値が多少高い部分は、今年度中にきちんと措置します。 (Cゾーンについて報告)
里山：	新たな地権者の参加を含め、毎月第3水曜日に公園緑地課を交え会議を行っています。他に里山協力会として出羽三山のメンバーを主とした約20名で、ゴミゼロの日に畔田の野球場までの道のゴミ拾い等々を行いました。市はいつも予算が無い無いというお話ばかりで、草刈り機を持つ方もいるので、今後は地元だけで少し草刈りなどをやろうかと思ひます。

(里山会からのお話－PR・散策路整備)

里山： 緊急雇用が今年度で終了した場合、今後予算がつかないと困ります。1年でも放置しておくとも元に戻ってしまいます。緊急雇用の1億近い金が無駄遣いにならないように、今後とも予算措置をお願いします。完成まで20年といっても1日でも早くできるよう、前倒してもいいのかなど。PRは、1年半前から申し上げておりますが、看板を少しでも早く付けていただきたい。千葉日報や千葉テレビにも話をしています。また、区域外の薬師堂から下へ道幅が50cmしかありません。もう少し本来の道路幅に整備してもらいたいと思います。

(地域の拠点との連携・その他ヘリポートなど)

病院： 前々回から参加させていただいています。病院のすぐ南側ということで、大変関心を持っています。特に東日本大震災以降、地域の災害拠点病院として千葉県に申請しており、今年度中には申請が認められるかと思っています。自然公園そのものが地域防災拠点になればと、市民の皆さんの健康と安心を守る、という視点からお話させていただいています。

里山： 防災ヘリの話ですが、畔田地区は千代田小が指定されています。ヘリ降下前に地元消防団が水まきをするなど、大変です。授業中の騒音問題もあり、Cゾーン内にも芝生のヘリポートを計画しています。下志津側と重複しますが、その点いかがですか。

公園： Cゾーンの個別計画イメージ図に、里山会さんのご提案に基づき、防災広場・ヘリポートを位置付けていますが、Aゾーンの多目的広場と同様、広場として避難地や仮設住宅用地の想定とともに、当然ヘリの発着可能な場所と捉えられます。具体的には、道路・駐車場などの大きな課題を先に話し合っ解決する必要があると考えています。

病院： 災害拠点病院の申請では、進入路や距離の関係からヘリポートを佐倉西高校さんにご協力願うとしています。土埃の立たない場所があれば、もっとお役に立てるかも知れませんね。

西高： 本校にはグラウンドが2つあり、他の県立高校よりは広い敷地ですので、非常時にはヘリポートとしてお使い下さい、とお話しています。非常時には色々な無理が生じるかとは思いますが、まずは皆さんと人命第一で協力していかねればと。本校には800人近い高校生がおります。東邦大病院さんには、生徒が怪我をした際など、お世話になっていまして、病院の七夕飾りやクリスマス会等でボランティアさせていただいています。先ほど自然観察会の皆さまから資料など頂戴し、本校ボランティア委員会とともに、是非協力できれば。地域や地元の方々との連携として、今後ともよろしく願いいたします。

(支援隊の組織・活動報告)

いのち

支援： 支援隊は、佐倉自然同好会・畔田谷津の生命を見守る会・人づくり街づくり環境づくりの会・畔田竹刈り隊・人と自然をつなぐ仲間佐倉の団体と個人加盟者で構成しています。運営は幹事会で案を作成し、市役所と話をします。佐倉自然同好会は年2～3回、生命を見守る会は月1回(第三土曜日午前中)、観察会を行っています。人づくり街づくりは、子ども中心として月2～3回の活動、竹刈り隊はCゾーンを中心として月1回のほか、サシバのために草刈りなど。人と自然は、Bゾーン中流域でサシバやアカガエル、蛍のために、池を作り、草刈りなどの活動をしています。事業を進めるうえで大切なことは、保全活動・動植物の調査モニタリング活動・観察会この3つをからみ合わせて行うことかと思っています。ふるさと会さん里山会さんと一緒になって活動ができれば。調査モニタリングはしないと生き物の増減が分かりません。公園予定地内の重要な野生動植物をリストアップして守る方策を一緒に考え、きちんとした管理方針を作って、それを元に進めたら良いかと。部分的にあちこちやりますと・・・全体としてのまとまりを図ることも大切だと思います。

(会議の時間配分について)

支援： 一旦解散となりますが、非公式にでも引き続き質疑の時間を設けることは可能でしょうか。

公園： このあと、下志津ふるさと会の皆さんは予定がおありだそうで・・・大変申し訳ありませんが、会場の都合もあり、12時に終了とさせていただきたいと思います。

ふる： 時間配分ですが前回会議報告はポイントのみで簡潔にし、質疑時間にした方が宜しいかと。

公園： 了解しました。欠席の方もいて、おさらいの意味もありますが、会議概要で足りるかと。

次回会議は、調整のうえ、ご連絡いたします。→9月・10月頃を想定しています。

以上